



町職員にアンケートする県立大生

合併後の福智町の姿を調査研究

● 福岡県立大学「福智町に関する総合調査」

福 岡県立大学の社会言論演習(豊田謙二教授)で「福智町に関する総合調査」が行われています。33人の学生が産業、人権、子育てなどのテーマごと6班に分かれ現地視察やアンケートなどをもとに調査を進めています。この結果は、町行政においても参考にし「人権と福祉のまちづくり計画」などに生かされる予定です。住民のみなさんにアンケートをお願いすることもありますが、その際には「協力をお願いします」。



勤務時間後 金田分館での町長訓示

行政のプロ集団を目指して

● 浦田弘二町長訓示

人 事異動を行った8月1日、浦田町長が行政サービスについて町職員に訓示しました。約260人の職員を前に、厳しい財政状況を踏まえながら「プロの職員集団として事に当たって欲しい。情熱を持ち一丸となって共に励もう」と町の状況や方針、心構えや勤務姿勢などを示しました。今回の異動では収納体制の強化を図り、また一部の係を統合するなどの対応を行っています。異動の内容は36ページをご覧ください。



本庁の会議室で開かれた初回の審議会

マスタープラン策定の審議会が発足

● 福智町まちづくり計画(総合計画) 審議会

福 智町まちづくり計画(第1次総合計画)を策定するための審議会が8月7日に発足しました。委員は公募による住民と公共的団体、識見者、議員から選出された30人で構成。この日、会長に上田毅(福岡県立大浦田町長の諮問を受け、今後、町の最上位計画を策定するために、現状を把握しながら10年後の町のあるべき姿を探っていきます)。

【審議会委員(五十音順・敬称略)】
池長一利(神崎)、伊藤洋史(伊方)、犬丸瑞穂(神崎)、上田毅(福岡県立大)、植高二(田川農業協同組合)、浦田浩三(上野)、大井哲子(金田)、大久保琢磨(赤池)、加来安子(弁城)、笠淳一(弁城)、香月隆司(弁城)、加藤正士(商工会)、金山松榮(伊方)、楠木静則(議会)、小山(守江(赤池)、今野正一(議会)、定宗義孝(上野)、篠原譲治(飯塚)、新開弘光(議会)、杉岡(金田)、高津澄子(伊方)、田中和敏(神崎)、出島静吾(平成筑豊鉄道)、仲島貴久美(伊方)、中村博幸(金田)、藤井勉(赤池)、松永通孝(神崎)、松山範昭(金田)、矢野義隆(金田)、渡正之(文化連盟)



調査の経緯なども記された監査結果報告書

住民監査請求に対する結果報告書まとまる

● 監査結果報告

地 方自治法に基づく住民監査請求が5月24日に町監査委員会に提出され、7月22日に監査結果報告書がまとめられました。主な内容は次のとおりです。

【監査請求】

- 1 2月27日に赤池町で浦田弘二町長が行った6件の市場小学校建設の工事請負契約に関する専決処分が地方自治法の要件を満たすか否かの監査。
- 2 専決処分が無効であることの確認。または違法を理由とする取消の勧告をすること。
- 3 監査結果に基づき、工事請負契約に基づく公金の支出をしないよう勧告すること。

【監査結果】専決処分については、地方自治法第179条の規定によるもので、認定は地方公共団体の長が行なうとされている。したがって

- 1 地方自治法第242条(以下、自治法)の規定にあたらぬと判断し棄却する。
- 2 自治法の規定により棄却する。
- 3 公金の支出については議会での報告を踏まえ、十分な協議を行なうよう勧告する。

なお、お問い合わせは福智町監査事務局 ☎(22)7772まで

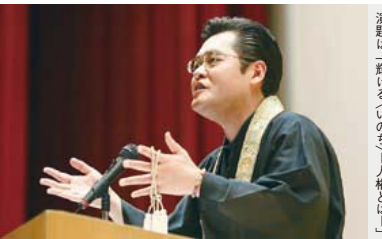


風景画が多々大作も飾られました

方城支所フロアに心癒す絵画

● 方城支所ギャラリー

方 城支所の空きスペースを一般開放した趣味のギャラリー1展示室で、8月に絵画展が行われました。個人から出品された24点の油絵や水彩画が1階フロアに展示され、来場者にホッとした空間を提供しました。9月には弁城・伊方両小学生による手作り貯金箱の展示が予定されています。なお、展示のお申し込みは方城支所の地域振興課で随時受け付け中です。☎(22)0520までお気軽にご連絡ください。



演題は「輝ける(へ)のち」一人権とは

差別に泣いてる人がいるんです

● 福智町同和問題啓発講演会

同 和問題啓発講演会が7月24日に同和对策研修センターで開かれました。講師に西郷寺の田中了彩住職をお迎えし、講演に約300人が耳を傾けました。田中さんは「自分中心、自分本位の見方を変えていく努力を」と呼びかけ「自分だけが命を輝かせているか、7月は啓発強調月間だが、365日考えて欲しい」と力を込めました。参加者は実話に基づく内容に、改めて人権の尊さを認識した様子でした。